



議会だより

せとうち

2022
11.1
第72号



元気いっぱい の 運動会

(あいあい保育園)



議案審議…2～5
陳情審査………6
研修報告………6
一般質問…7～15

発熱者等を移送 するタクシーに 400万円

発熱等の症状がある市民を医療機関に移送する旅客運送事業者等へ、感染対策に必要な経費を助成する予算が計上され、可決した。

問 どのように対応するのか。

答 事前に登録した旅客運送事業者の情報を医療機関に提供する。医療機関からの依頼によって移送対応する。

問 助成金額と実施期間は。

答 助成金額は、1回の移送につき、タクシー事業者に5千円。実施期間は、感染者が急増した頃にさかのぼって7月1日から来年の3月31日までとする。

第2宮下産業団地 第2期造成工事の業者決まる



第2宮下産業団地の造成工事の様子(第1期)

問 これまでの経緯は。

第2宮下産業団地整備に伴う造成工事請負契約の締結について、契約議案が上程され、可決した。

答 第2宮下産業団地には、アイリスオーヤマの企業誘致が決定しており、令和3年5月11日に、立地表明覚書を交わしている。
令和4年6月に用地買収が完了し、造成工事に取り掛かった。
全体の開発面積は、7.2畝で、現在造成中の1期工事と2期工事で5.2畝の造成を行う。

問 産業団地内の草刈り等維持管理はどのようにするのか。

答 産業団地内の官地の維持管理については、立地した企業にお願いするケースが多い。詳細についてはまだ決まっていないが、地元住民や地区との協議も踏まえて今後決めていきたい。

問 この第2宮下産業団地については、もと

長船に小規模保育事業所 約1千700万円

長船地域は、ゼロ・1歳児の入園希望が急激に増加し、待機児童が発生している。その状況に対応するため長船町福岡に、小規模保育事業所を整備する民間事業所への補助金交付の予算が計上され、可決した。

問 小規模保育事業所とは。

答 6人以上19人以下の定員で、原則ゼロ歳から2歳児に対して保育を行う事業所である。

問 今後のスケジュールは。

答 今年度中に、国の交付金を活用し、事業者が必要な改修等を行い、令和5年4月の開園を予定している。

問 来年度からは、邑久にこども園が開園し、整備中の今城こども園も整備が終わる。その上、ゼロ歳から2歳の保育施設が必要なのか。

答 現在のゼロ歳児の定員が、全市で48人となっている。今年度の申し込み数は102人だった。
今城こども園はゼロ歳児が来年度の4月より3人から9人定員になり、6人増える。邑久に新設するこども園は、ゼロ歳児が6人、1歳児が12人、2歳児が12人の定員を考えている。
今後も、特にゼロ歳児については、手当てが必要と考えている。

問 駐車場は。

答 二、三十メートル離れたところに駐車できるスペースがある。

問 3歳になった時の受け皿は、大丈夫か。

答 民間事業者は、市内で長年保育所の運営もされている事業者なので心配ない。



瀬戸内市こどもひろば (in 岡山村田製作所)

市道開田線 道路工事の業者決まる



延伸される市道開田線位置図

市道開田線(岡山村田製作所から西大寺備前線をつなぐ道路)の橋梁下部工事請負契約の締結について、契約議案が上程され、可決した。

問 スケジュールは。

答 令和6年度完成予定である。

問 全体事業費は。

答 約9億7千万円を予定している。社会资本整備費総合交付金を利用し、市の持ち出しはおおむね4分の1の見込みである。

問 市は団地をつくること

が最優先なのは分かるが、やはり通学路なので、保護者も本心に配をしている。工事期間だけでなく、産業団地ができた後も安全に通学できるように、しっかりと要望、対処をお願いしたい。
答 引き続き、関係機関と情報を共有しながら進めていく。

陳情審査

J R長船駅の改良等に関する陳情書が提出され、全会一致で可決した。

〈陳情要旨〉

駅利用者の安全と利便性確保のため、エレベーター及び、西口の設置を求める。



J R長船駅

〈討論〉

J R長船駅の問題に関しては、議会も何年も言い続けていることである。行政も、駅前整備の短期計画にこそ入ってはないが、最重要課題として取り組んでいる。

議会も行政も頑張っているときに、こうして市民の方から後押しを頂けるのは、本当に有難い。

国土交通省のバリアフリーに関するハードルが、一日乗降客

数2千500人から2千人以下だった今、瀬戸内市にとっては追い風である。

議会・行政・市民が一致団結してバリアフリーを勝ち取るまで、ともに闘って欲しい。

オンライン議員研修に参加

8月18日岡山県市議会議長会主催による議員研修会が開催されました。今年も昨年に引き続きオンラインでの研修となりました。

【講師】 防災システム研究所 山村武彦所長

【テーマ】 「誰一人取り残さない」互近助で作る防災に強いまち」

【講義内容】

講師は、各地で起こった災害の現場に足を運び、その教訓をもとにお話しされました。

犠牲者ゼロ、逃げ遅れゼロ、災害ゼロを目指し、災害はいつでも、どこでも発生することを念頭に避難訓練（災害発生↓すぐに行動↓安全ゾーンに避難）と防災訓練が必要である。

今、自助・共助・公助に加え、互近助（近所の助け



合い）が大切であり、日頃から地域のコミュニティ単位での訓練を実施する必要性を訴えられました。今後何が必要かの質問に、洞察力・想像力を養うことが大切であり、訓練の場ができるだけ多く作る必要があると答えられました。本市も互近助を積極的に取り入れたいと思います。

一般質問

原稿については、各質問者が投稿したものであり文責は質問者にあります

一般質問

岩田 恵一 (7ページ) 1. 国土利用計画策定について 2. 自動車刈り機導入について

小谷和志 (8ページ) 1. 山林の管理について 2. 前島について 3. 長船スポーツ公園について

平原順一 (8ページ) 1. 今後の幼稚園の在り方について 2. 吉井川に橋を新設する計画は

成本 崇 (9ページ) 1. 遊休地の活用について 2. 若い世代の意見を取り入れることについて

厚東晃央 (9ページ) 1. 学校給食費の無償化について 2. 安全・安心のインフラ整備について 3. 世界平和統一家庭連合(旧統一協会)について

竹原 幹 (10ページ) 1. 地域自治組織と一括交付金制度について 2. 道路整備について

原野健一 (10ページ) 1. 観光行政について 2. 固定資産税について 3. 自治体DXについて

鳥原 舞 (11ページ) 1. 鳥獣対策について 2. 学校給食における地産地消の推進について

川勝浩子 (11ページ) 1. ヤングケアラーについて 2. 社会教育の充実について

日下俊子 (12ページ) 1. 子育て支援について 2. 鳥獣被害対策について

河本裕志 (12ページ) 1. 新型コロナウイルス感染症について 2. マイナンバーカードの交付状況について

小野田光 (13ページ) 1. 物価高騰対策について 2. 道の駅について

秦井誠司 (13ページ) 1. 市営バスの今年10月からの運賃変更や運賃改定について 2. 岡山ステイネーションキャンペーンの進捗と今後の展開予定について 3. 外国人就労や長期滞在の状況について

島津幸枝 (14ページ) 1. 家族介護の支援について 2. ゼロカーボン推進事業について

室崎陸海 (14ページ) 1. フリーセンターかもめ周辺土地の廃棄物について

石原芳高 (15ページ) 1. 合併特例債を活用した事業について 2. 補助金制度について

木下公文 (15ページ) 1. 後援名義等の使用承認について 2. 新型コロナウイルス感染症による自宅療養者への支援について



個人質問の映像を録画放映でご覧いただけます。

岩田 恵一 国土利用計画において森林地域の活用は 森林整備計画との整合を図り方針を示す

問 国土利用計画において市面積の40%を占める森林の活用をどう計画に織り込むのか。

総合政策部長

森林地域はアンケート結果からも、自然を生かしたレクリエーション施設などに活用するといった回答が多く市民の関心が高い。瀬戸内市森林整備計画との整合性を図りつつアンケートや審議会での審議の結果を踏まえながら活用の基本方針を示していく。

市長

森林地域の活用は今後選択肢に入れていく必要があるが、森林開発には環境問題・排水対策・採算等の難しい課題がある。今後財源・交付金・補助金等の条件を整えば宅地・工場用地への可能性も見えてくる。引き続き研究を前向きに進めていく。

問 人口の減少・高齢化により地域の草刈りが危機的状況にあり、特に傾斜地は重労働となっている。作業軽減策として市で自動車刈り機を購入し、地域に貸し出しをしてはどうか。

産業建設部長

草刈りは地域の大きな課題であり、自動車刈り機は作業軽減に非常に効果的であると考えている。維持管理や安全確保等の体制整備の課題もあるが、他自治体や全国の優良事例を調べ、導入する方向に向け検討していく。



草刈りが必要なため池の傾斜地



成本 崇

問 未利用の公用地を住宅用地へ活用しては

答 有効な活用をやっていく必要がある



個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。



雑木が生えている遊休公有地

条件付きでの土地の売却の手続きについては、他市町村の事例を研究していく。

総務部長

問 民間に宅地開発の条件付きで売り払いを行い、活用してはどうか

売却や貸付け等を進め、財源確保を図るといって考えてみる。

総務部長

問 市所有の未利用土地を活用することについての考えは。

分野がまたがる場所であるので、そういったところを調整しながら、どんな切り口がいいのかを検討したい。

市長

問 若者議会を開いて、その意見を受け止めることは、地域への愛着と地域の一員である認識につながるのでは。

周辺部での宅地の需要についての見極めが必要。政策誘導的に宅地を作るのであれば、さまざまなオプションがあるので検討が必要である。

市長

問 宅地を周辺部においても整備していくというところが、そこで育った地域の若者たちが住み続けることにつながるのでは。



厚東 晃央

問 学校の給食費を無償化にすべき

答 今後検討していく課題である



個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。

問 学校給食費を公会計化し、子どもたちがお金を持つていけないようにすべきである。

今後検討していくべき課題である。また、物価高騰が給食費に影響しないような形をとってほしい。

市長

問 中核市の青森市でも給食費の無償化を来春から始める。市長の政治的判断で実施すべきではないか。

無償化には年間約1億5千万円が必要である。継続的な予算の確保が課題となることから現時点では難しい。

教育長

問 子育て支援を充実させることが必要である。学校給食費を無償化にすべきではないか。

教育長

公会計化は文部科学省の示すシステム導入のガイドラインに沿って検討をしている。できるだけ早くさまざまな課題の解消ができるように進めたい。

教育長

問 学校給食費の公会計化は教職員の仕事の軽減にもなる。速やかに実施すべきではないか。



給食費の無償化を



個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。

小谷 和志

問 前島に橋を架けては

答 離島振興計画の見直しで検討する



問 前島の、夜間や緊急時の対応は。

消防長

フェリーの運航外の時間帯に緊急事態が発生した場合、緑の村公社の緊急連絡先に連絡し対応していただいている。

問 8月25日、前島地区の住民から架橋についての要望書が提出された。計画すべきでは。

産業建設部長

期限切れとなる離島振興法の延長が、国で議論されている。延長になった場合には、離島振興計画に【架橋】についての記載ができるかが鍵になる。

市長

協議会を作る選択肢もある。

問 長船スポーツ公園は、かなり老朽化している。



(体育館)



(トイレ)

早期の改修が必要な長船スポーツ公園

整備が追い付いていないことは、申し訳ない。現在邑久スポーツ公園を中心に改修を進めているので、今後順次計画的に改修整備に取り組む。

教育長

るうえに、使用上の不具合も多い。トイレ、テニスコート、体育館、駐車場と、課題が山積している。改修の計画を立てる時には。



個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。

平原 順二

問 今後の幼稚園の在り方は

答 幼児教育は大事と考えている



問 幼稚園の児童も減り、先生も保護者も心配しているが、今後の幼稚園はどうなるのか。

教育長

これからの子どもに必要な力を育てるには幼児教育は重要な役割と考えている。現在幼稚園を利用されている保護者も、より、将来の保護者となる方や地域の方の意見を聞きながら、今後の豊かな幼児教育を研究していく。

市長

橋を架けるとなると、多額な事業費が必要となる。その事業費を市の方でどのように賄うことができるのか、その手法について研究していきたい。また、交通渋滞の問題点として今の交通量を流すだけの十分な機能が邑上橋にも雄川橋にも備わっていないと思われる。その解決の方法も今後前向きに研究をしていきたい。



園庭で遊ぶ子どもたち (行幸幼稚園)





竹原 幹
問 行政委員制度は、見直すべきでは
答 早期に方針を決定し、見直していく



個人質問の映像を録画放映でご覧いただけます。

問 今まで、行政委員は町内会長とは別物との説明で来ているが、現状はそうなっていない。結果的に役員の任期は2年となり、輪番制がとられた。それが、町内会の活力を低下させている一因と考える。

行政委員の任務は市との事務連絡であり、町内会長の仕事は、様々な地域のイベント、神社や墓地の管理等々の世話役であり、リーダーである。

現行の行政委員制度は、身分を非常勤の特別職公務員とし、市長が任命し、報酬を支払っている。同様の制度は、「住民組織は自治体の下部組織に組み込むことを禁じている地方自治法の趣旨に違反している」という判例もある。また、公職選挙法には公務員等の地位利用による選挙運動の禁止規定もあり、罰せられることも考えられる。さらに、一昨年には、地方公務員法が改正され、特別職非

常勤職員の任用要件が専門的な知識、経験、または識見を有する者と厳格化された。行政委員制度は約15年間で定着しているが、新たな地域自治組織を作る前に見直し、市と町内会との新たな協力関係を確立すべきでは。



町内会主催のクリーン作戦

総務部長
早期に方針を決定し、行政委員、土木委員、環境衛生委員に周知を図った上で、制度の見直しを行っていききたい。



原野 健一
問 瀬戸内市のDX戦略への取り組み状況は
答 子育てや介護関係でのシステム構築を



個人質問の映像を録画放映でご覧いただけます。

問 メディア等により、DXという文言だけが先走りしているようだが、現在瀬戸内市が取り組んでいるデジタルトランスフォーメーションについて、市民に分かりやすく具体例を挙げて説明を。



出典：総務省デジタルフォーメーション

総務部長
市民の利便性の向上を図るため、児童手当等の子育て関係の15業務と介護関係の11業務で、マイナンバーカードを用いて、夜間や休日など24時間いつでもオンラインで、行政手続きが行えるシステムの構築を進めている。

市民生活部長
専門的な知識を持った不動産鑑定士の評価をもって、3年に1度その評価額を見直している。災害等により被災された場合、状況に応じた率も市で補正しているが、あくまでも不動産鑑定士の評価をもとに決定しているものである。

問 床上浸水したことがある土地は、安心できる対策工事等がなされない限り、そのリスクは払拭されない。土地にかかる固定資産税額は、以前と全く変わらないという声を何人も市民の方からお聞きする。公平公正に算出された評価額であることは十分承知しているが、1年限りの減免措置だけにとどまってしまうのか。



鳶原 舞
問 学校給食における地産地消推進について
答 現在新たな取り組みを協議している



個人質問の映像を録画放映でご覧いただけます。

問 多種多様な農作物が作られ、旬の新鮮な素材が食べられる瀬戸内市。その素晴らしい土地に暮らす子供たちと保護者に、給食を通して今よりもっと魅力を伝え、市に誇りを持ってもらっては。

市長
10月から食のしあわせプロジェクトを立ち上げた。ふるさと納税等の活用により財源を確保し、市内で生産される地場産品を給食の食材に提供できるように取り組みを進めている。



市内の安心安全な旬の新鮮素材を子供たちへ

産業建設部長
猟友会にも現状の課題を相談している。市として総合的な見地から、不公平感のない制度設計にしていいため、現在、内容について詳細な検討に入っている。

市長
同じ目的を持って地域のためにも思っている方々が、いい形で引き続き地域に関わっていただくようにするための方策を考え、制度の改善に努める。



川勝 浩子
問 ヤングケアラー実態把握の結果は
答 可能性の高い児童生徒は58人



個人質問の映像を録画放映でご覧いただけます。

問 ヤングケアラー実態把握のための具体的な調査方法と結果は。

保健部長
市内の小学校の4年生から6年生までの914人と、全中学生884人を対象にアンケート調査を実施。

保健部長
ヤングケアラーの可能性の高い児童生徒ということで、家庭で手伝いや家族の世話をしている、それによって自分のやりたいことを我慢し、学校や周りの大人に何らかの助けを求めている児童生徒は、小学生で36人、中学生で22人、合計58人確認された。

保健部長
問 今後の支援をどのように考えていくのか。

保健部長
教育委員会部局などの協力を得ながら個々の状況について聞き取りを行い、それを基に関係機関と協議をしながら支援内



市民に親しまれている瀬戸内市民図書館

問 瀬戸内市民図書館のCDやDVDの視聴覚コーナーを充実すべきでは。また電子図書館導入の考えは。

教育長
CDやDVDは毎年所蔵数を増やしている。視聴覚室等はスペース的に難しいと考えている。電子図書館については、新型コロナウイルス感染症問題などでニーズが高まる可能性もあるので、利便性やコストなど状況を見ながら検討していく。





小野田 光

問 早急に、物価高騰対策を

答 早急に、切れ目ない制度を作り対応する



個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。



早急に検討作業に入り、切れ目なく漏れのない制度を作り、対応を図る。

市長

早急に物価高騰対策を実施すべきではないのか

問 ロシアのウクライナ侵攻や記録的な円安を背景に、ガソリン等エネルギー価格や小麦を原材料とする食料品等の値上げが続いている。10月から更なる品目の値上げが想定され、市民生活や事業者への影響は必至である。

道の駅は、大切な施設であり、効果的な対応をしていく。

市長

問 夢の持てる道の駅にしたい。

取締役会等で、今後の経営改善等しつかり進言したい。

市長

問 道の駅への市の関与の在り方も改めて検討する時期が来ていると考えるが、運営会社の社長である市長の考えは。

利用者数減少も歯止めがかからず厳しい状況だ。

売上高を比較すると、平成19年度の約1億6千万円をピークに年々減少し、令和3年度では、約7千400万円と半分以上となつていく。

副市長

問 道の駅の現況は。



秦井 誠司

問 瀬戸内市の観光キャンペーンについて

答 魅力をより深く知る機会として評価



個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。



観光客で賑わう備前おさふね刀剣の里

牛窓地区でのアートイベントとこれに連携したスタンプリリー事業により、美術館ではコロナ禍前の同期間と比較して約3.4倍の増加となっている。備前長船刀剣博物館では特別展に合わせ、朝負神社でイベントが実施されたり、巡回バスで備前福岡などを巡る機会となっているなど、観光客の満足度が高い傾向にある。

文化観光部長

問 岡山デスティネーションキャンペーンについて、現段階での進捗と評価は。

バス車内への機器設置やシステムの構築にかかる費用とのバランスなども慎重に検討する必要があります。

総合政策部長

問 免許返納者や、障害者手帳を持たれていく方など、今までどおりの減免措置を考えていたのだが、ICOCAなどのキャッシュレス決済の導入の考えは。

中学生以下は今までもおり無料、それ以外の全体的には1乗車当たり100円の一律運賃とする。1回乗って降りると1乗車、乗り継げば2乗車とカウントする。

総合政策部長

問 市営バスの10月からの料金の変更点は。

総合政策部長



個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。

日下 俊子

問 老朽化の激しい長船東保育園の改善を

答 一日も早い改善に向けて取り組みたい



問 有害鳥獣対策は随分進んだが、唯一遅れ

一日も早く改善に向けて取り組んでいきたい。

市長

問 長船東保育園は、老朽化が著しく、だま

しだまし使うのはそろそろ限界だ。早期に今後の計画が必要では。

大型複合遊具は、安全面の観点から、できるだけ早く更新する必要がある。

いづも・健康部長

この同じ保育園に対して、対象・対象外となる基準は。

問 長船東保育園は昭和50年築で、老朽化が進んでいる。その建物に對しての洋式化の議論では、老朽化が著しいので対象外とされ、臨時交付金を使った公立保育園の遊具の更新は対象となつた。



早急な改善が望まれる長船東保育園

こういつた制度の導入は財源の確保が必要になる。交付金の活用を前提とし、来年度予算の計上を目指す。

産業建設部長

もう一つは、東部クリーンセンターへ持ち込み、まるごと焼却の連携をお願いすることだ。

検討出来ないか。ているのが捕獲鳥獣の処理ルートの確立だ。処理ルートは、2択と考えている。一つは、クリーンセンターかもめに捕獲獣のカット機械を置き、現地でカットし焼却するやり方だ。



個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。

河本 裕志

問 オミクロン株用ワクチン接種は

答 12歳以上の接種を9月中旬に準備する



市民の皆様に分かりやすいように、ホームページなどでより詳細な情報提供ができるよう改善する。

市長

問 自宅療養者に寄り添った相談窓口を設置しては。

ワクチン接種の効果や安全性を理解して頂けるよう、接種を推奨するチラシを広報紙に折込み、各家庭に届け、市の公式LINEを通じて情報発信する。

問 若年層の感染者が多い中、ワクチン接種の考えは。

年代別感染者の集計では、若年層の割合が多い。感染症の重症化リスクが低く、感染しても軽症で済むケースが多いこと、ワクチン接種時の副反応が強くあったことが考えられる。

いづも・健康部長



国と県の説明会があり、12歳以上の方への接種を9月中旬に準備する。

いづも・健康部長

問 オミクロン株用ワクチン接種は。

県と役割分担をしながら、できることをやっていく。寄り添う気持ちが伝わるような発信の仕方について、担当課等含め検討する。



石原 芳高

問 補助金等、補助率の見直しが必要では

答 バランスと公平性を考えながら検討



個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。

全体的なバランスと、公平性を考えながら検討していきたい。

市長

今後の状況に注視して、求められる補助金制度を検討していきたい。

物価高騰対策として、まずは直接的で効果が高いと考えられる支援に力を入れていく。公平性や透明性の面からも、慎重に検討していく必要性があると考えている。

副市長

また、市民と協働のまちづくりをしていく上で、公費を充当していくことは重要だと考える。市民の活動に対して、補助対象の拡充や、委託料の見直しを行う考えは。

物価高騰の経済状況の中で、各種補助金制度の在り方や、補助率等の見直しが必要なのではないか。

物価高騰の経済状況の中で、各種補助金制度の在り方や、補助率等の見直しが必要なのではないか。



合併特例債を活用した工事が進む市庁舎西側

合併特例債については、期限が令和6年度までなので、新たな事業を実施することは困難である。有利な起債を活用しながら、現在進行中の事業を着実に実行し、市の均衡ある発展と、公共施設の統合整備を進めていく。

副市長

新たに、合併特例債を活用した事業の考えは。

市民に寄り添う施策や、事業が必要だと考える。

島津 幸枝

問 家族介護用品支給事業の対象拡充を

答 内部で協議し、速やかに結論を出す



個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。



他の給付事業では市民税非課税世帯のみならず、均等割課税の世帯に対しても、市独自で1人5万円給付をしたケースもあり、同様の対応が可能か検討したい。内部で協議をして速やかに結論を出したい。

市長

紙おむつなどの家族介護用品支給事業は、要介護4または5で市民税非課税世帯と対象が限定されている。市民税非課税世帯に限定せず、支給対象を拡充してはどうか。

市民生活部参与

地域新電力会社の事業は、公共施設や市有地への太陽光発電設備設置による発電事業を想定している。

まちづくり法人の事業は、地域新電力会社の設立と業績管理を行う。地域新電力での利益が出た場合は、地域課題を解決する役割を担う法人として半官半民で取り組む。資金は、本市から50%以上の出資、地元金融機関からの出資を想定しているが、事業規模が決まっているため、額は未定である。



室崎 陸海

問 かもめ周辺土地の廃棄物の状況は

答 関係者等へ聞き取りなどの調査をしている



個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。

前議会においてクリーンセンターかもめ周辺土地の産業廃棄物について調査すると答弁を市長はしたが、その後調査した報告がない。どの様になっているのか。また、クリーンセンターかもめ周辺の土地を地域住民が憩える場所としてさらには歴史ある師楽地区を紹介出来る公園として整備してはどうか。

市長



投棄されていたゴミ

市長

よく内容を知っている職員がいるのであれば話を聞き、今後の対応を検討していきたい。

木下 公文

問 後援名義の使用承認について

答 今後は慎重に対応を検討していく



個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。



後援・共催名義使用申請書様式

本市は、ピースロードという今話題の宗教団体の関連団体が主催するイベントに後援をしていたが、後援共催名義使用申請書の添付書類を見て、また承認基準と照らし合わせて団体を認識できたと思うが、どのような審査を経て決定したのか。

総合政策部長

平和を訴える、地域振興に資する、自転車を通じたスポーツの振興であるといったものを記載してあったので、そこに宗教的、政治的色合いはなかったということ、承認を決定した。

市長

他市では新型コロナウイルス感染者への支援を市独自で行っているが、本市も同じように支援をしてはどうか。

自宅療養者への支援は基本的に県が中心となっていて行っている。情報収集からやっていきたい。

議案審議

陳情審査

研修報告

一般質問

議案審議

陳情審査

研修報告

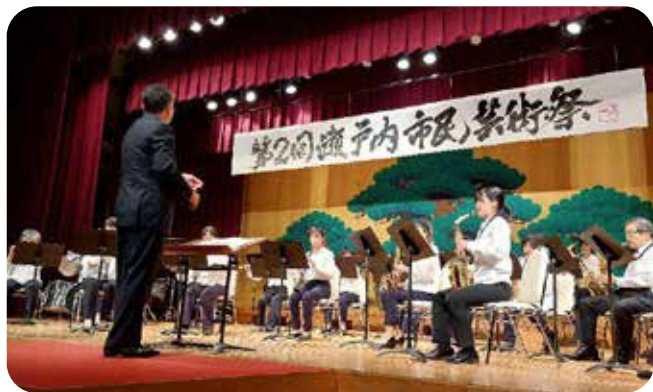
一般質問





★地域のかがやき★

地域の写真を市民のみなさんからも募集します
(下記メールアドレスにお送り下さい)



第2回瀬戸内市民芸術祭オープニングイベント
(中央公民館)



春風亭昇吉さんがやって来た
(子ども落語・備前福岡仲崎邸)

議会報告会開催のお知らせ

コロナ禍で令和2・3年度は中止しましたが、4年度は開催を予定しています。

新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、現在準備を進めており、来年2月頃を目途に、牛窓・邑久・長船の3会場で開催予定です。

感染急拡大の場合には中止もありますが、今後の動向を注視しながらお知らせします。



大勢の人で賑わった
「第8回牛窓しおまちアート」



良港として栄えた牛窓港。その港町の風情を今に伝える「しおまち唐琴通り」の一角に、赤いレンガタイルが特徴的な「旧中國銀行牛窓支店(現・街角ミュゼ牛窓文化館)」が建っています。大正4年に牛窓銀行として建てられ、その後、幾度か名称は変わりましたが、銀行としての機能を失うことなく、昭和55年まで利用されていました。現在は展示施設「街角ミュゼ牛窓文化館」として活用されています。

外観は西洋風ですが、日本の建築技術も用いられた和洋折衷の建物です。離れて見ると、洋風の軒から瓦葺の屋根がのぞいているのがわかります。大正時代の銀行建築の好例であり、国の登録文化財に登録されています。

知ってますか?
文化財



**旧中國銀行
牛窓支店**

(現・街角ミュゼ牛窓文化館)

次回定例会の予定

(インターネット中継のある日)

都合により、日程が変更となる場合もあります。

11月28日(月)	本会議	9:30～
12月 5日(月)	本会議	9:30～ 一般質問
6日(火)	本会議	9:30～ 一般質問
7日(水)	本会議	9:30～ 一般質問
8日(木)	本会議	9:30～
20日(火)	本会議	9:30～

編集後記

猛暑が続いた夏も終わり、日毎に秋も深まってまいりました。秋といえば、実りの秋、読書の秋、芸術の秋……といわれますが、瀬戸内市でも先日から瀬戸内市民芸術祭が始まりました。私は初日に中村橋吾氏の歌舞伎のパフォーマンスを間近で見えて大感動しました。さまざま不安の多い世の中ですが、この秋、芸術文化に触れてリラックスできたらいいですね。

市民の皆さんが、安心して暮らしていけるように、皆さんの声をしっかりと聞き、市政へ反映させていきます。今後とも、皆さんの声をお聞かせください。

(川勝 浩子)

●お問い合わせは議会事務局 (0869)22-0979までお願いします。

E-メールアドレス gikaijimu@city.setouchi.lg.jp

瀬戸内市議会ホームページアドレス <https://www.city.setouchi.lg.jp> この市議会だよりは再生紙を使用しています

本会議の映像を、生中継および録画放映でご覧になれます。

